

1. 本県周辺海域の概況(10/11現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・三陸北部沿岸域や常磐北部海域に冷水域が分布しています。一方で、金華山沖には暖水塊が分布しています。水温は、9月下旬に台風15号が日本列島を縦断した際、海水がかき混ぜられたことから大きく降温しました。
- ・黒潮の流型はN型基調(直進流路)ですが、伊豆諸島付近で小規模な蛇行が形成されています。流路は犬吠埼沖を東北東方向へ流れ、北緯36度30分、東経144度まで北上していると推測されます。

2. 海洋観測結果(10/4~10/8:ときわ)

- ・水温を図2~図5に、水温前月差を図6~図7に、平年偏差を図8~図9に示しました。
- ・前月まで形成されていた水温躍層は、台風15号による海水混合により解消しました(図10)。前月と比べると、北部海域の表層は降温し、逆にその下層では昇温しました(図11)。南部海域は広範囲で降温しました(図12)。平年と比べると、北部海域の表層は低め、その他は概ね平年並み、鹿島沖は低め、犬吠埼沖は高めでした(図13, 14, 15)。
- ・沿岸域では概ね逆潮、南部沖合域は東北東方向への強い流れでした。(図16)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮は伊豆諸島沖の蛇行が東進して犬吠埼沖へ抜けるでしょう。また、その際には房総半島から一時的に離岸するでしょう。ただし、蛇行が小規模なので流路変動に伴う沿岸域への強い暖水波及は無いでしょう。
- ・親潮の勢力は弱いでしょう。また、三陸沿岸域の冷水域は金華山沖の暖水塊により南下を阻まれているので、北方からの強い冷水波及は無いでしょう。
- ・海面水温は、気温の低下と共に徐々に降温するでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸域は概ね「平年並み~低め」で推移するでしょう。

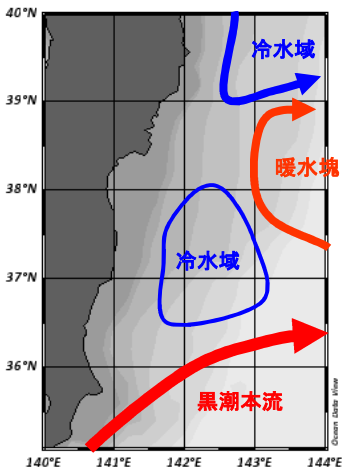


図1 海況の概要
(10月11日現在)

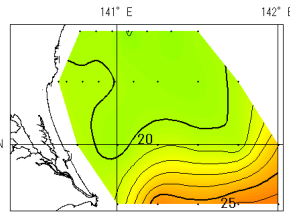


図2 海面水温(°C)

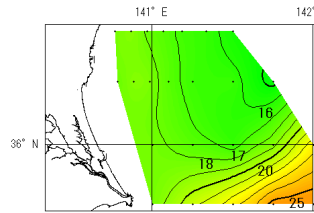


図3 50m深水温(°C)

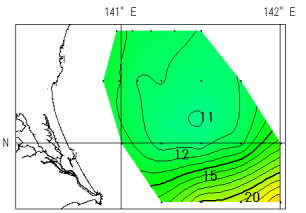


図4 100m深水温(°C)

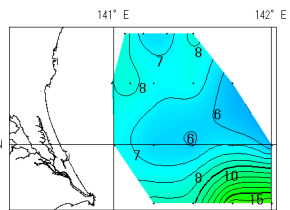


図5 200m深水温(°C)

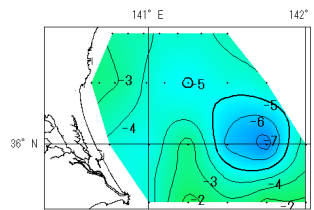


図6 海面水温前月差(°C)

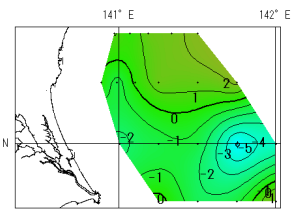


図7 100m深水温前月差(°C)

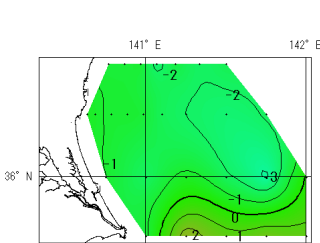


図8 海面水温偏差(°C)

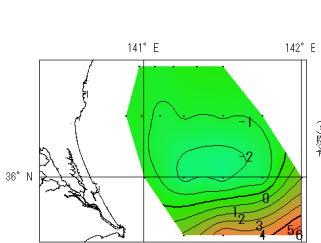


図9 100m深水温偏差(°C)

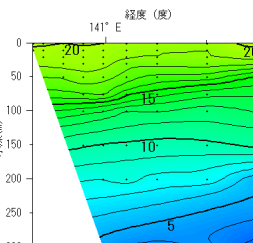


図10 大洗沖鉛直水温(°C)

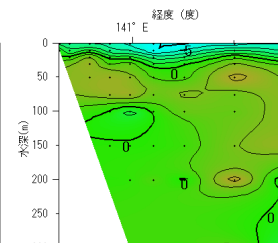


図11 大洗沖鉛直
水温前月差(°C)

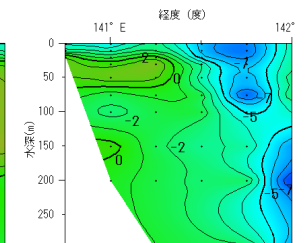


図12 鹿島沖鉛直
水温前月差(°C)

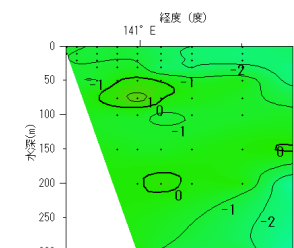


図13 大洗沖鉛直水温偏差(°C)

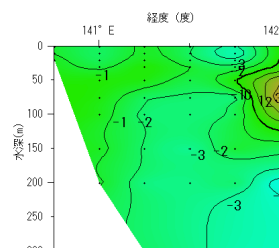


図14 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)

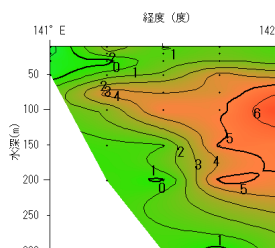


図15 犬吠埼沖鉛直水温偏差(°C)

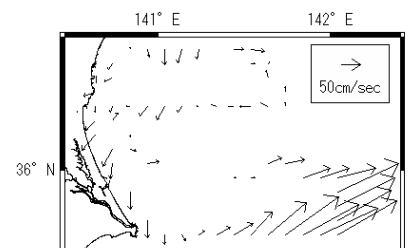


図16 水深10mの流向流速(50cm/s≒1ノット)